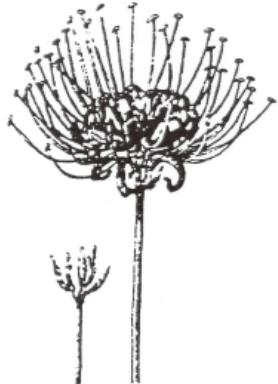


ヒガンバナ



中国から渡来した帰化植物で、彼岸花と書き、秋の彼岸の頃に花が咲くことから起った名前である。別名マンジュシャゲは、曼珠沙華で、天上に咲く赤い花をあらわす。「法華經」に出てくる梵語からとられたといわれている。シタマガリという別名は、誤つて口にしたら、中毒して、舌が曲がって硬直し、言えなくなるということから名づけられた。また、花が咲くときに葉がないため「はみずはなみず」とも呼ばれる。

くれる。葉は翌年3月に枯れ、夏から秋の花の頃には葉が大きい。昔は墓のそばによく生えていた。そこから庭植えを嫌う地方が多い。多かった。全草にリコソン、アカロイドなどの有毒成分を含む。同種族に鍾馗蘭（ショウキラン）、ナツズイセン、キツノノカクソリなどがある。

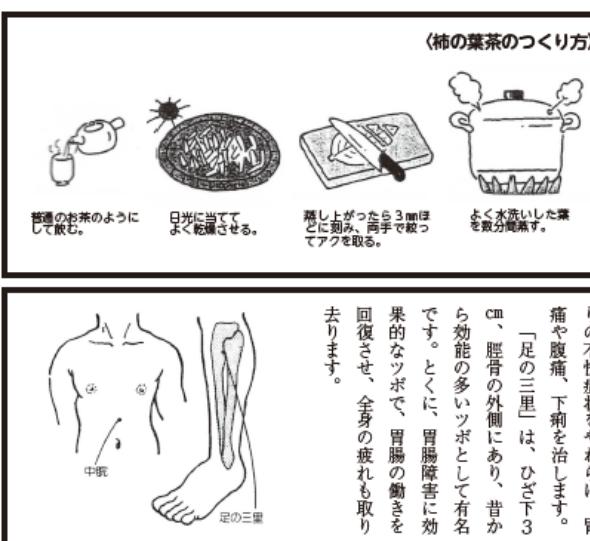
つきぬけて天上の紺曼珠沙華  
曼珠沙華なるごとく野の列車  
道標に美女谷どあり曼珠沙華  
角川源流

柿の葉茶

柿の葉茶

民間療法

胃腸障害を伴う疲れに  
ちゅうかんあしさんり



は約2ヶ月かからず日本の北まで咲いていくが、ヒガンバナは全国一齊に咲く。秋の彼岸頃、地上に葉がないのに、いかにも唐突に地下茎から高さ30cmくらいの花茎を1本出し、その先に赤色の美しい花を数個輪状に開く。6花弁は細長く外側にそりかえり、へりは縮れている。花が終わると、その後に、光沢のある深緑色の葉を多数出す。冬枯れに深緑色の葉が冬の庭を楽しませて

トウゴマ70粒をすり鉢でよくすり碎き、秋に採取したヒガバナの地下の鱗茎一個をおろし、ねでおろし、この二つをすり鉢よく混せて、布に厚く塗り、毛足の裏一面に貼つて包帯で巻いておくと約10時間位したら、体余分な水分が小便か大便になつて出る。これを何日か続けるとよい。

**効能**  
肋膜炎、腹膜炎、腎臓病、脚氣などの水分をとるのに外用として用いる。

曼珠沙華逃るる一とく野の列車  
道標に美女谷どあり曼珠沙華  
山口誓  
角川源  
野沢

柿の葉茶

ちゅうあん あし さんり  
「中脘・足の三里」

空気が乾燥して温度が下がつてくると、インフルエンザがはやる季節になります。毎年12月から2月にかけてが多いですね。一昨年は、体力のないお年寄りや、幼児に多くの死亡者が出て、去年はワクチン接種をする人が増え、ワクチンが不足するくらいでした。今年もすでに接種が始まっていますが、一部の医療機関ではキャンセル待ちの所もあるようです。

ウイルスには効きませんが、二次感染を予防するため使うこともあります。昨年から、インフルエンザウイルスに効く薬が使われるようになりました。発症して二日以内に服用すれば、ウイルスの増殖を抑えることができ、重症化せずに済みます。服用すると、中にはふらつきが出たり、興奮する方もあるようです。が、治療効果は期待できる治療です。今までは、大

フルエンザはウイルス感染で  
すが、二次的細菌感染によ  
るインフルエンザ肺炎は、  
しばしば重症化しますの  
で、咳や痰が持続したり、  
息苦しさが見られる場合は、  
医師の診察を受けて下さい。

しかし、人間の体は、常に体内に入れないよう心がけましょう。室内の空気を乾燥させないように注意し、睡眠不足などで、抵抗力を落とさないようになると、や、食事も大切です。粘膜を丈夫にするビタミンAやE、抵抗力をつけるCをしっかりと摂りましょう。

インフルエンザには、A型、B型などがあり、それぞれ特徴がある症状を呈します。A型特に大流行しやすく、症状が強いようです。高い熱が急に出てかと思うと、悪寒、頭痛、筋肉痛が現れ、身体がだるくなり、咳や、喉の痛み、鼻水も続きます。熱は、高い熱が4～5日続き、治るのに一週間くらいかかります。二次感染を引き起こしやすいので、肺炎や、

ものではなく、吸入する。インフルエンザウイルスの薬が発売されます。インフルエンザかもしれないと思つたら早めに病院に行つた方がいいかもしれません。そして水分をたっぷり取り、無理をせず暖かくしてゆっくり休みましょう。

インフルエンザ

こどもの病気シリーズ

## 治療

E、抵抗力をつけるCを  
しっかり摂りましょう。

インフルエンザには、A香港型、Aソ連型、B型などがあり、それぞれ特徴ある症状を呈します。A型が特に大流行しやすく、症状が強いようです。高い熱が急に出てきたかと思うと、悪寒、頭痛、筋肉痛が現れ全身がだるくなり、咳や、喉の痛み、鼻水も続きます。

インフルエンザウイルスの薬が発売されます。インフルエンザかもしれないと思つたら早めに病院に行つた方がいいかもしれませんね。そして水分をたっぷり取り、無理をせず暖かくしてゆつくり休みましょう。

空気が乾燥して温度が下がつてくると、インフルエンザがはやる季節になります。毎年12月から2月にかけてが多いですね。一昨年は、体力のないお年寄りや、幼児に多くの死亡者が出て、去年はワクチン接種をする人が増え、ワクチンが不足するくらいでした。今年もすでに接種が始まっていますが、一部の医療機関ではキャンセル待ちの所もあるようです。

ウイルスには効きませんが、二次感染を予防するため使うこともあります。昨年から、インフルエンザウイルスに効く薬が使われるようになりました。発症して二日以内に服用すれば、ウイルスの増殖を抑えることができ、重症化せずに済みます。服用すると、中にはふらつきが出たり、興奮する方もあるようです。が、治療効果は期待できる治療です。今までは、大

抵抗力をつけるじを  
かり振りましょう。

抵抗力をつけるじを  
かり振りましょう。